

かわさき区の宝物シート

宝物No.	ふいご
18-3	ふいご(近藤鉄工所)

エリア	大師地区	シーズン	通年
	千鳥・水江	日時	

目的	<input checked="" type="checkbox"/> 観る <input type="checkbox"/> 遊ぶ・体験する <input type="checkbox"/> 食べる <input type="checkbox"/> その他
宝物定義	<input checked="" type="checkbox"/> ものづくり <input type="checkbox"/> イベント・祭り <input type="checkbox"/> 味づくり <input type="checkbox"/> にぎわい <input type="checkbox"/> 現代の文化的なもの <input type="checkbox"/> 港めぐり <input type="checkbox"/> 歴史的なもの <input type="checkbox"/> 人物



写真提供：(株)近藤鉄工所



所在地	川崎区水江町6-14
問い合わせ	(株)近藤鉄工所
TEL	044-288-0681
FAX	044-288-0682
E-mail	
URL	http://www.netlaputa.ne.jp/~kiw/
交通	JR川崎駅からバス「水江町」下車徒歩2分



基礎情報

■(株)近藤鉄工所では、創業時から40年ほど前のボイラー設備の導入までの間、ハサミなどの鍛造に木製のふいご(炉の火力を高めるための送風機)が使用されていた。ふいごは、機械・金属加工工業、すなわちかつての鍛冶屋業にとって「護り神」的な存在であり、通常は倉庫に大切に保管されているが、年に一度の「ふいご祭」では神事に供される。

由来・エピソード

■同社の木製のふいご(鞆)は「吹差ふいご(または箱差ふいご)」と呼ばれるもので、風の分配を均等にするため箱底部に特殊な工夫が施され、柄を押したり引いたりすることによって常に風が送られる仕組みになっている。

■川崎大師駅前の金山神社(若宮八幡宮)の祭神は金山比古神・金山比売神の二神。もともとは鍛冶屋の神で、社殿内部には鍛冶屋の作業場が再現されふいごや炉が置かれている。毎年11月8日、近藤鉄工所では工場・従業員安全、災厄消除、商売繁昌などを祈願する「ふいご祭」を執り行っている。工場内に設けた祭壇には神酒が供えられ、若宮八幡宮から招いた宮司が祝詞を詠み上げた後に参加者全員によって玉ぐしがささげられる。

補足・その他

■操業に支障のない範囲で見学可能(要事前申込)。

関連シート

(10-5)金山神社・金山神社郷土資料室
 (18-2)1/2トンハンマー(近藤鉄工所)
 (18-4)川崎ゼロ・エミッション工業団地